

第2次長野県教育振興基本計画のポイント ～一人ひとりの学びが生きる教育立県“信州”の創造～

★★考慮した社会情勢の変化や教育課題★★★



- ◆急速な児童生徒減少見込と学校規模の縮小
- ◆グローバル化・情報化等社会変革への対応
- ◆教育に対するニーズの多様化と財政の逼迫
- ◆教育格差拡大の懸念
- ◆若者を取り巻く厳しい環境 など

★★計画の基本目標（重視する視点）★★★

自立 知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間の育成

- ◇教育の機会と質の保証
- ◇成長段階に応じた「縦」の接続
- ◇学ぶ意欲と変革に対応する能力の育成
- ◇感性、社会性、人間性を磨く教育 など

共生 多様性を認め、共に生きる社会の実現

- ◇多様性を尊重した学習機会提供
- ◇子どもを切れ目なく、地域で支えるネットワーク など

共育 社会全体で共に育み共に学ぶ教育の推進

- ◇社会全体の「横」の連携・協力
- ◇生涯にわたる学びと成果の活用 など

特に重点的に取り組む施策【主な達成目標】

学力・体力向上 【基礎的基本的な学習内容の定着度 小6：61.8%⇒65% 中3：56.5%⇒60%】

- 小・中学校の30人規模学級編制等を維持し、きめ細かな指導や子ども同士の学び合いを充実
- 客観的データに基づいたPDCAサイクルによる学力向上を支援
- 英語コミュニケーション能力の育成やICTを活用した確かな学力育成
- 長野県版運動プログラムによる幼児期から中学生期の体力・運動能力向上

キャリア教育の推進 【在学中に就業体験活動を体験する高校生 52.2%⇒100%】

- 地域社会や産業界が支援して中・高校生の職場体験、就業体験活動を充実

高等教育の充実 【県立4年制大学数 1⇒2】

- 大学間連携や産学官協働による長野県を担う人材の育成、県立4年制大学の設置

地域に開かれた多様な公立学校 【信州型コミュニティスクール(小・中)の割合 21%⇒100%】

- 保護者・地域住民が学校の教育活動支援と学校運営に参画する仕組(信州型コミュニティスクール)の構築
- 市町村等への権限移譲の検討
- 人口減少期の小・中学校のあり方について市町村と共に検討し新たな学校づくりを推進
- 高校の規模・配置、探究的な学科や特色学科等を検討し、第2期高校再編計画を策定

教員の資質能力向上 【実践的な研修を行っている学校の割合 66.6%⇒90%】

- 教員の倫理向上等に関する行動計画の策定・実行
- 教員のミッションを明確にした新たな教員研修体系の構築

いじめ・不登校対策 【小・中学校不登校児童生徒在籍率 1.14%⇒1.08%】

- 有識者による「いじめ等学校問題支援チーム」を設置し専門的な助言や解決支援
- 困難を抱える児童生徒や家庭を地域で総合的に支援する体制の構築

特別支援教育の充実 【個々の児童の教育支援計画作成率(小学校) 65%⇒80%】

- 授業のユニバーサルデザイン化などインクルーシブ教育システムの構築
- 特別支援学校全体のあり方検討と教員配置等教育環境の計画的な充実
- 発達支援を専門的に行う学びの場づくり

スポーツの振興 【運動・スポーツ実施率 48%⇒65%】

- 国際大会・全国規模大会での選手の活躍に向けた競技力向上
- プロスポーツとの連携による地域活性化等スポーツの多面的な役割活用

信州教育スタンダードの推進

長野県らしい教育の姿として、県民の共感を得て推進したい「守りたい教育の伝統」、「維持・充実したい教育活動」、「実現したい教育目標」を具体的に明示 【別紙参照】

信州教育スタンダードは、長野県が提案する、県民の皆さんに共感していただき維持・充実・実現したい具体的な教育の姿です。

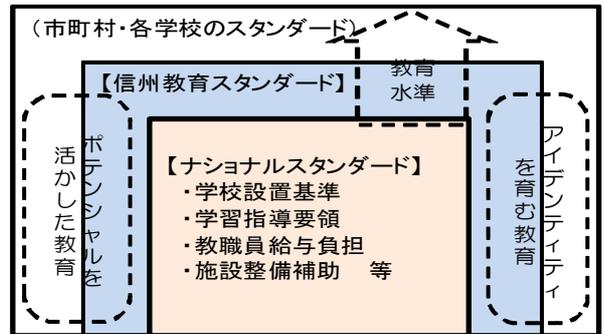
長野県らしい教育（県の特徴を生かす、帰属意識を育む、優れた水準）として、県民全体で理念を共有し、守りたい「教育の伝統」、維持・充実したい「教育活動」、実現したい「教育目標」を提案しています。

以下に示した事項のほか、今後スタンダードと呼ぶにふさわしい教育の姿を掘り起こし、検証して新たなスタンダードに加えていきます。

県民総ぐるみで信州教育スタンダードを推進し、教育立県“信州”を創造しましょう。

【信州教育スタンダード設定の視点】

- 長野県の特徴(ポテンシャル)を生かした教育
- 県民としての帰属意識(アイデンティティ)を育む教育
- 優れた教育水準



守りたい教育の伝統

県民・学校等の自主的取組による優れた伝統で、施策を支える基盤となるもの

■信州の自然や特色を生かした体験学習（スキー・スケート、集団登山等）が活発

⇒【未来の姿】信州に誇りと愛着を持つ人材が育っている

■学校で県歌「信濃の国」や地域の歌を学んでいる

⇒【未来の姿】県民が「信濃の国」を歌え、信州に誇りを持っている

■子どもたちが身近な地域行事に積極的に参加している(全国トップクラス)

⇒【未来の姿】子どもたちが社会性や郷土愛を身に付け成長している

■活発な公民館活動が行われている(公民館数、利用者数が全国一)

⇒【未来の姿】県民が身近な地域で興味・関心や地域課題に応じて学んでいる

維持・充実したい教育活動

施策の推進の成果として、長野県の特長となっている教育活動

■国にさきがけて小・中学校30人規模学級編制が実現している

⇒【未来の姿】きめ細かな支援が充実し、一人ひとりが能力を十分伸ばしている

■冬季アスリートを発掘・育成する取組「SWANプロジェクト」に取り組んでいる

⇒【未来の姿】プロジェクト出身のオリンピック選手が活躍している

実現したい教育目標

施策を推進することで、新たな長野県教育の特長にしていきたい教育目標

■すべての高校生(全日制)が卒業するまでに就業体験活動を行うようにする

⇒【未来の姿】高校生が将来に対する目的意識を持って成長している

■県内の幼稚園・保育所、小・中学校で長野県独自の「運動プログラム」による体力向上に取り組む

⇒【未来の姿】子どもたちの体力・運動能力が向上している

■長野県独自の指導資料「信州ベーシック」を全ての義務教育教員に浸透させる

⇒【未来の姿】効果的な指導が行われ、子どもたちに確かな学力が身に付いている

■特別支援学校の分教室など、長野県らしい特別支援教育の地域化を進める

⇒【未来の姿】障害のある子どもたちが身近な地域で同年代の友と共に学んでいる

■異年齢の子どもたちの共同生活体験「通学合宿」が活発に行われる

⇒【未来の姿】生活の知恵や社会性、人間関係形成力を身に付け成長している